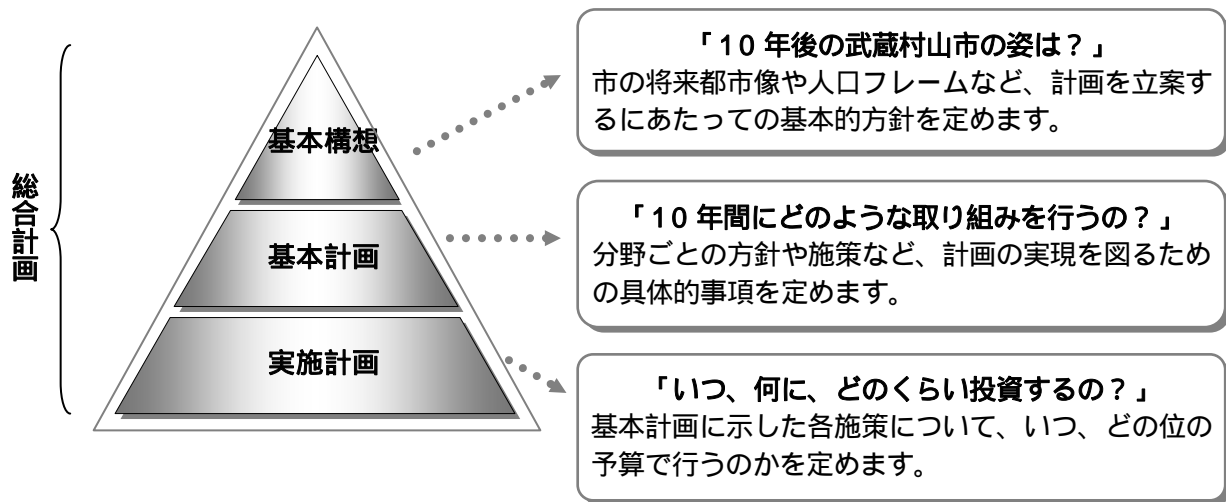


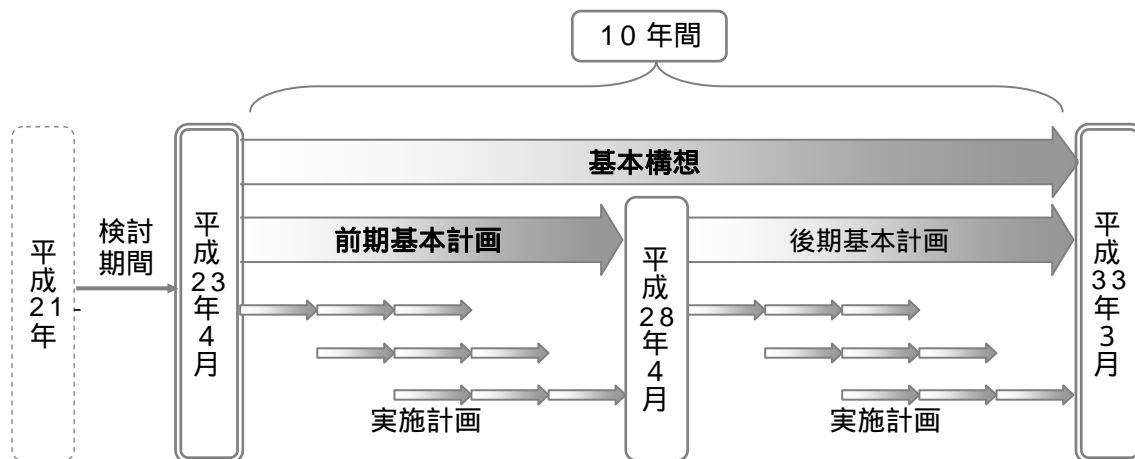
第4次長期総合計画の策定について

1. 「第4次長期総合計画」の位置づけ

「長期総合計画」は、市の最上位計画として位置づけられ、様々な個別計画の基本となる考え方を示したものです。「長期総合計画」は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されます。



今回策定する「第4次長期総合計画」は、平成23年4月からスタートする10年間の計画です。なお、基本計画は途中5年目に見直し、実施計画は3年分の計画を毎年、ローリング（見直し）していきます。

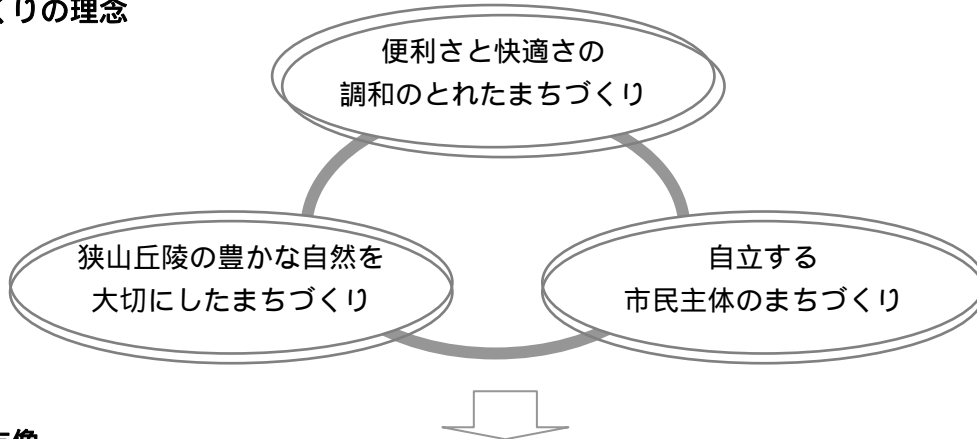


2. 現行の「長期総合計画」の概要

現在は「第3次長期総合計画」の「後期基本計画」に基づいた市政が進められています。

「第3次長期総合計画」基本構想の概要

まちづくりの理念



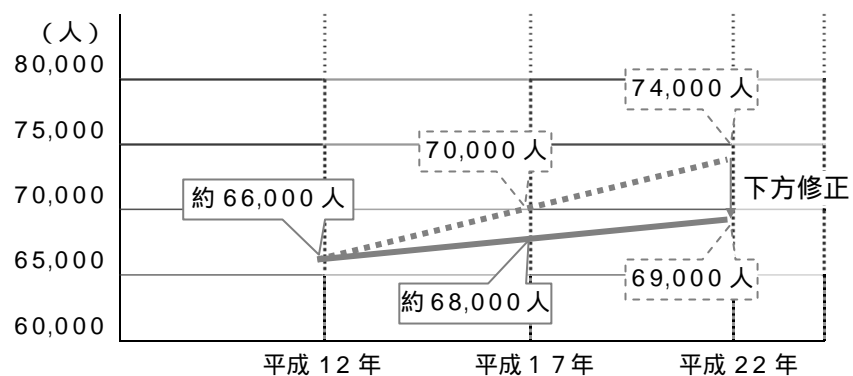
将来都市像

緑輝く 快適ステージ ふれあい文化都市 むさしむらやま

太陽の光を受けて、きらきらと輝く狭山丘陵の緑を背景とする“快適ステージ”の中で市民がいきいきと暮らし、健康ゾーン（散策・温泉など）や都市核を中心に、市内外の人々が集い、ふれあいながら新しい文化を創造する都市のイメージを表しています。

将来人口

平成13年に策定された第3次長期基本計画では、平成22年の人口を74,000人と予測していましたが、後期基本計画策定時（H18.3）に実数との乖離があったことから、後期基本計画では平成22年の人口を69,000人に下方修正しました。



国勢調査実数

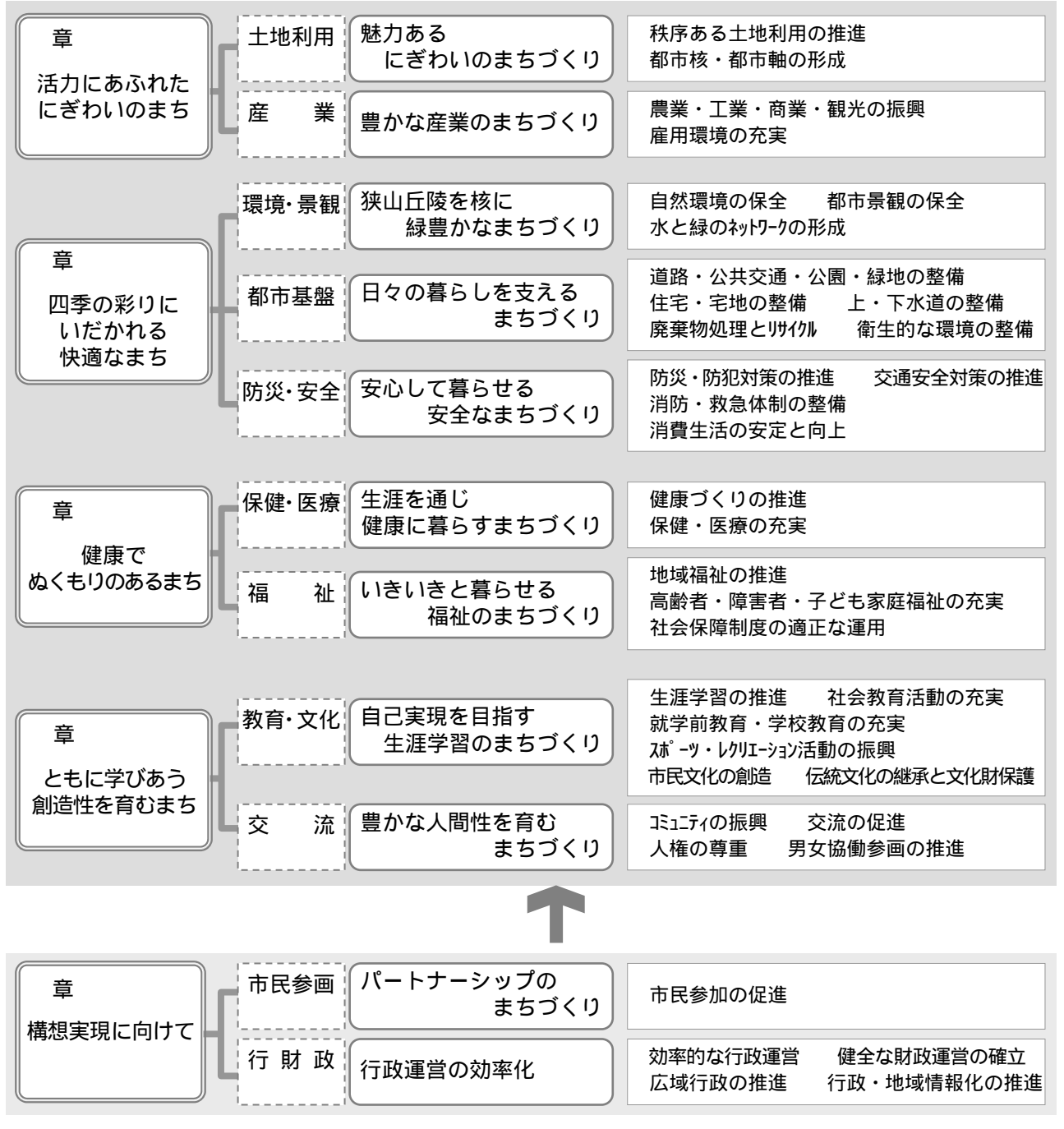
予測値

第3次基本構想 / 前期基本計画 (H13.3 策定) での人口予測

後期基本計画 (H18.3 策定) での人口予測 (修正値)

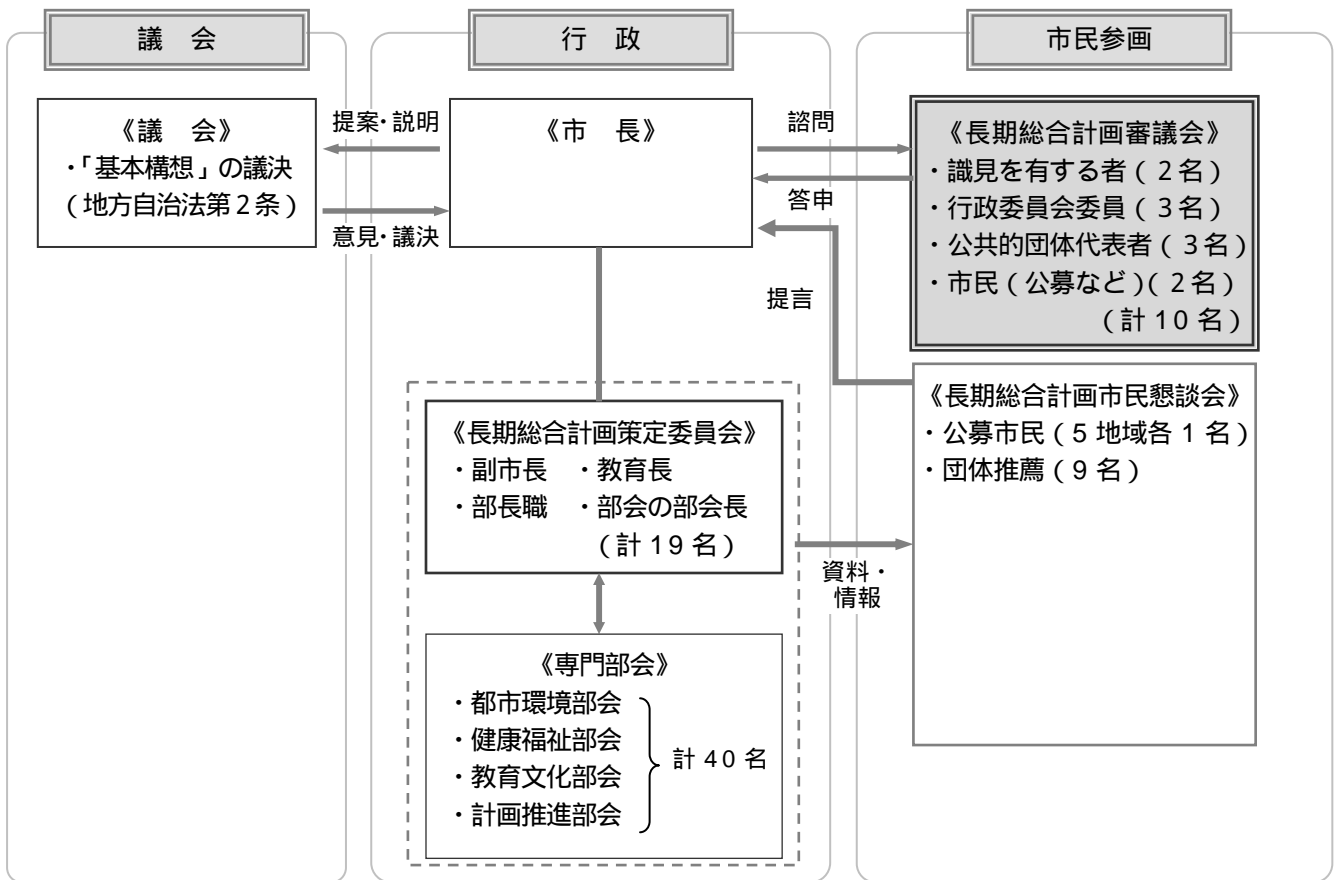
「第3次長期総合計画」後期基本計画の概要

計画の構成



3. 「第4次長期総合計画」の策定体制

「第4次長期総合計画」の策定にあたっては、下図に示す体制によって検討を進めていきます。



《各会議等の役割》

《長期総合計画市民懇談会》 : 今後 10 年間に取り組んでほしいこと（基本計画）を市民の立場で意見交換し、提言書としてとりまとめます。

《長期総合計画策定委員会》 : 専門部会からの資料等を基に、市の将来像や基本計画の組立て等の部分を主に議論し、原案を作成します。

《専門部会》 : 市民懇談会における検討のための資料や情報を提供します。また、懇談会で出された市民の意見等も参考にしながら、それぞれの分野において今後 10 年間に行っていく基本計画の検討を行います。

《長期総合計画審議会》 : 市長の諮問を受け、市民懇談会からの提言や策定委員会の資料に基づいて検討し、審議会としての答申を行います。

《議会》 : 「基本構想」については、最終的に議会の議決を得る必要があります。